

笑顔とがんばりの町

# おのまもち

## 議会だより

### 第2回定例会

◇一般会計補正予算(第2号)、

食品等環境放射能測定装置

購入契約などを議決

◇人権擁護委員候補者に井上とき子氏

◇夜間議会・7人の議員が一般質問

(原発事故対策、小・中学校統合、企業誘致、

河川改修事業、公立総合病院建替などについて)

### 第2回臨時会

◇一般会計補正予算(第1号)、小野中学校

プール災害復旧工事請負契約などを議決



▲「千歳市・子育て総合支援センターを視察」(厚生産業常任委員会)



▲「真庭市・勝山森林ふれあい会館を視察」(総務文教常任委員会)



▲「福島県東京事務所にて調査活動」(企業対策特別委員会)



▲「只見町の通年議会を視察調査」(議会改革特別委員会)

# 第2回定例会

6月12日～15日

平成24年第2回定例会は、6月12日から15日まで4日間の会期で開かれました。

会議では、平成24年度補正予算や条例の一部改正、放射能測定装置購入契約の締結、人権擁護委員候補者の推薦、議員提出議案など7議案を原案のとおり可決しました。

また、7名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲第2回定例会

## ◆小野町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

「住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴い、外国人住民が住民基本台帳の適用となり、併せて「外国人登録法」が廃止されることにより、当該条例の関連する条項の一部を改正するもの。〈全員賛成で可決〉

## ◆福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更

右記の条例一部改正同様、「住民基本台帳法の一部を改正する法律」の施行に伴い、外国人住民が住民基本台帳の適用となり、「外国人登録法」が廃止されるため、当該規約の一部変更を行うもの。〈全員賛成で可決〉

## ◆環境放射能測定装置購入契約の締結について

ゲルマニウム半導体検出器を用いた食品等環境放射能測定装置購入契約の締結について、地方自治法第九十六条第二項第八号に基づき議決したものです。〈全員賛成で可決〉

## ◆人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて



▲井上とき子氏

井上とき子委員の任期が平成二十四年九月三十日をもって満了となることから、引き続き同氏を推薦したいため議会の意見を求められたもので、満場致で候補者として適任と決定しました。〈全員が適任と認定〉

## 陳情の審査結果

第2回定例会では、1件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
電気料金の東京電力株の50%負担の要求等に関する意見書の提出を求める陳情	原発事故賠償 電気料金割引を求める会・田村 代表:遠藤 求	不採択

## 被災を受けた損壊家屋等の解体撤去委託料、除染作業に対する補助金などが増額

平成24年6月の補正予算は右の表のとおり、全員賛成で可決しました。

一般会計補正予算では、収入で、災害等廃棄物処理事業費国庫補助金3,775万円、災害等廃棄物処理事業費県補助金755万円、財政調整基金繰入金2,300万円、計6,830万円を増額し、支出で、東日本大震災により被災を受けた損壊家屋等の解体撤去委託料6,800万円、消防操法大会激励金30万円、計6,830万円を増額したものです。

除染対策事業特別会計補正予算では、収入で、線量低減化活動支援事業県補助金580万円を増額し、支出で、除染作業を行い線量の低減化を図る地域ボランティア活動に対する補助金など、580万円を増額したものです。

### 平成24年6月補正予算

会計区分	補正額(千円)	予算総額(千円)
一般会計	68,300	4,202,300
除染対策事業特別会計	5,800	52,992

# 第2回定例会 一般質問

6月13日  
14日

竹川里志議員、田村弘文議員、会田明生議員、籠田良作議員、宗像芳男議員、遠藤英信議員、佐藤登議員が町政各般について質問を行いました。

## 職員の人事異動について



竹川里志 議員

**短期間での異動で支障はないか**  
心配する。短期間での異動のメリットを具体的に伺います。

**役場機能全体の総合的な能力の向上に配慮し人事に当たっている**  
この大事な時期には、担当部署において継続し業務に当たるのが、町民や町政にプラスだと思うが、小野町の場合、人事異動の期間が短いのではないかと。短期間での異動で業務に支障はないのか。

**町長** 職員の人事異動については、常に適材適所を念頭に配置を行っています。部門、部署に併せて、役場機能全体の総合的な能力の向上に配慮し人事に当たっています。

## 災害後のハザードマップのありかについて

### 新しいハザードマップ作成状況について

**町長** 昨年の地震災害、原発

災害により、従来のハザードマップを見直す必要があると思う。

**町長** 災害に想定外はないと考え、昨年以上の災害が来ても、この広い小野町の各行政区ごとに、老人、子供、弱者を迷わず安全な場所へ誘導できるハザードマップの作成を早急に考えなければならぬ。

新しいハザードマップは、現在どのような形になっているか伺う。

**町長** 現在のハザードマップは、水害、及び土砂災害を柱とする部分が多く、原子力災害などの大規模災害の備えとしては十分に想定されていない側面があります。

**町長** 東日本大震災において課題となった事項を早急に検証し、地域防災計画の見直しも含め、災害への備えについて、取りまとめてまいります。



▲役場庁舎

## 役場庁舎の耐震性について

**耐震化構造の状態について**  
昨年の震災でも壊れなかった役場庁舎ですが、震災後、耐震化構造はどのような状態か、伺う。

### 平成22年度に耐震補強を行った

**町長** 現在の役場庁舎は昭和35年に建設されたものであり、52年経過しています。平成22年度に耐震補強を行いました。現在は新庁舎の建設も選択肢の一つとして検討してまいります。

### 暫定庁舎はどこに想定しているか

**町長** 役場庁舎が壊れた場合の暫定庁舎はどこに想定しているか、伺う。

**町長** 現在の役場庁舎が被災し、使用できなくなった場合の多目的研修集会所を想定

**町長** または、町民体育館、

**町長** 現在の役場庁舎が被災し、使用できなくなった場合の

**町長** 新庁舎の建設については、町民の利便性、防災拠点としての役割、建設費用と財政状況のバランス、建設スケジュールなど、様々な角度から、今後、検討してまいります。

## 各公共施設の耐震化について

**震災後の各公共施設の耐震化は強化されているか**

**問** 学校、公営住宅などの公共施設も震災の被害を受けている。よつだが、震災後の安全性は向上しているか、災害時に避難所となる公共施設の耐震化の見直しを推進しないといけないと思うが、各施設の耐震化を、今後どのようにするのかが、伺う。

### 6つの層の耐震化に努める

**町長** 災害時の避難施設における耐震化の状況ですが、町内4小学校、2中学校の校舎及び体育館につきましては、平成23年度までに耐震補強工事と災害復旧工事を実施したことにより、現在、耐震化



▲耐震補強工事の済んだ小野新町小学校

耐震基準で建築されています。一部、基準値を下回っている施設については、今後、詳細な耐震診断や耐震化対策を講じる等、より一層の耐震化に努めてまいります。

## 町民の放射線測定について

**町民や子供たちのホールボディカウンタなどの健康調査について**

**問** 健康調査は、国や県などの対応を待っていないで町独自の体制をとるべきだが、

関する懇談会のみ開催しました。

### 今後4年間で

**統合をどう進めるのか**

**問** 統合が平成28年度目標であるが、今後4年間の短い期間内でのように進めていくのかが、伺う。

### 保護者の皆様、

**地域の方々のご理解を得ながら進める**

**教育長** 統合に向けては、教育環境や統合再編に対する各地域での話し合いを進めながら、保護者の皆様を始め、各地域の方々のご理解、「コンセンサスを得ながら進めてまいります。

### 残された4年間で

**統合が可能か**

**問** 残された4年間で統合が十分可能かと思っっているのか、伺う。

### 更なる時間を要すると考える

**教育長** 現在、教育委員会において、「小野町教育環境整備の基本方針」の検

ホールボディカウンタなどの町民の長期にわたる健康調査は、今後、どのようなスケジュールで行う予定か、伺う。

**内部被ばく線量測定を実施するほか、健康調査等についても検討する**

**町長** 内部被ばく線量測定について、民間医療機関との協議が整い、この3月に第1回目として、中学3年生を対象に測定を実施しました。以降、測定が可能な4歳以

## 震災に係る助成金の総計と検証について

**小野町独自の助成措置について**

**問** 被害があった町民の方が早急に立ち直るために、自由に使えるような不公平感がない小野町独自の助成措置の必要があると思つたが、考えを伺います。

**より深刻で困難な方々に配分を決定した**

に説明申しあげてまいりたいと考えております。

**今後、地元に対してどのような方針で臨むのか**

**問** 町としては、中学校を1校にするという基本方針があります。早期統合に向けて、今後、地元に対してどのような方針で臨むのかが、伺う。

**早急に懇談会を開催する**

**教育長** 学校統合に関する保護者の皆様の考えをお聞きするため、5月にアンケート調査を実施し、現在、集計と分析を行っています。その結果がまとまり次第、浮金小・中学校並びに浮金つつじ児童園の保護者の皆様を対象に、早急に懇談会を開催し、統合についての理解を賜りたいと考えております。



▲廃校となった夏井第二小学校

## 昨年度の助成金の総計について

**問** 部損壊住宅の工事費の助成や家屋等の解体に対する助成について、それぞれの件数と助成金の総額について伺う。

**町長** 部損壊住宅の助成については、申請件数767件、助成申請額1億1,463万3,000円、家屋の解体事業について、62家屋、1億3,857万6,530円となっています。



田村弘文 議員

## 教育環境整備の基本方針について

**小・中学校統合の進捗状況等について**

**問** 町では、平成18年に教育環境整備の基本方針を策定し、平成28年度までに小学校、中学校を1校に統合するとしています。

小学校4校の統合に向けて、今後、財源の確保、地元との合意、建設用地の選定、新校舎の建設等、多くの課題があると思つたが、進捗状況が一向に見えてこない。

統合する4校の保護者及び学区民と統合に関する懇談会がなされてきたのか、伺う。

### 延べ4回の懇談会を開催

**教育長** 平成22年度には、小学校区単位、延べ4回の教育懇談会を開催し、意見交換を行いました。

平成23年度においては、東日本大震災の影響を考慮し、中学校統合に

**解体撤去の選択肢も必要ではないか**

**問** 今後、利活用が見込めない場合、年々建物も老朽化し、益々活用が困難な状況になるのではないかと考えておりますが、議区によっては、防犯上あるいは景観上、好ましくない状況にある。今後、解体撤去の選択肢も必要ではないか。

**様々な観点から対応を考える**

**町長** 地域の活性化につながるような施設の利用を図られることがベストと考えておりますが、議員ご発言のとおり、様々な観点を考慮し、対応を考えてまいります。

## 振興計画の「びざり」について

**企業誘致について、どのような考えで取り組むのか**

**問** 地元にも多くの人が残ってもらうには働く場所の確保が一番です。震災後のこの状況の中で、この市町村も企業誘致には一生懸命です。企業誘致が停滞する状況を解消するためにも、小野町において、今後、どのような考えで企業誘致に取り組むのかが、伺う。

**積極的に情報の発信に努めたい**

**町長** 昨年発生した東日本大震災や原発事故

**小野町独自の優遇策も必要ではないか**

**問** 最近では、独自の優遇策で企業を誘致している

市町村が多く見られま  
す。小野町においても、  
独自の優遇策を講じるこ  
とも必要と考えるが、町  
長の考えを伺う。

### 積極的な企業誘致 活動を進める

**町長** 平成19年に小野  
町企業立地促進条例を  
制定し、積極的な企業誘  
致に取り組んできました。

また、県において「ふ  
くしま産業復興企業立  
地補助金が創設された  
ほか、「東日本大震災復  
興特別区域法」や「福島  
復興再生特別措置法」に  
基づく税制優遇制度等  
が創設されるなど、手厚  
い優遇策が準備されて  
います。

当町においては、これ  
ら優遇策も活用し、積極  
的な企業誘致活動を進  
める考えてあります。

### 町長自らのトップ セールスが大切と 考えるがどうか

**町長** 企業誘致活動は、積  
極的に企業訪問し、小野

町の立地条件、豊富な労  
働力等、よさをPRする  
とともに、県や県の出先  
機関と緊密に連携して働  
きかけていくのが最善か  
と思います。相手に顔が  
見える誘致活動をするた  
め、町長自らのトップセ  
ールスが大切と考えるが、町  
長の考えを伺う。

### 大変重要であること 認識しております

**町長** 町のビジョンや立  
地環境を直接説明する機  
会として、顔が見える自  
らがトップセールスを行  
うことは大変重要である  
と認識しております。

これまで、機会を捉  
えてトップセールスを行っ  
てきましたが、今後さら  
にトップセールスを充実  
させてまいりたい。

### 仮称「小野町立地 企業等懇談会」 設置について

**町長** 今年度、新たに仮称  
「小野町立地企業等懇談  
会」を設置して町内誘致  
企業との連携を図ると  
されているが、現在立地

している企業において  
は、お互いの情報網・連絡  
網を構築するための協  
議会が設置されており  
ます。

### 振興計画の「あんしん プラン」について

**町長** 改めて町が立地企業と懇  
談会を設置する目的と期待  
する効果について伺う。

改めて町が立地企業と懇  
談会を設置する目的と期待  
する効果について伺う。

しかし、策定時は平穩  
な小野町を想定したもの  
であり、昨年の大震災、原  
発事故以来、安全・安心  
が根底から崩壊しており  
ます。

今後の町民の安全・安  
心を考えて振興計画の  
「あんしん」の部分を見直  
し放射能対策を加えるべ  
きと思うが、町長の考え  
を伺う。

### 企業と行政等との 連携強化を図る

**町長** 企業間だけでな  
く、企業と行政等との情  
報交換、意見交換による  
連携強化を図り、企業誘  
致の推進や雇用の確保に  
つなげていきたい。

### 後期計画に 盛り込みたい

**町長** 振興計画の基本  
計画については、次年度  
において後期計画を策定  
することになっておりま  
すので、原子力災害等へ  
の対応や課題について  
は、後期計画に盛り込み  
たいと考えています。

震災復興など当面の  
施策については、毎年度  
策定している実施計画に  
位置付けをして、各種施  
策を講じております。

### 除染計画について

**町長** 小野町も除染重点市  
町村になっており、昨年度  
は教育施設、公共施設等

の除染を行いました。  
本年度は、小野町の復  
興元年として最重要課題  
に位置付けしている除染  
事業について、今年2月に  
提示された除染に関する  
工程表通りに進んでいる  
のか、伺う。

### 1カ月程度遅れている

**町長** 現在、全町空放  
射線量調査を業務委託  
しており、並行して仮置  
場の絞り込み作業を行っ  
ています。除染の実施ま  
では、今しばらく期間を  
要する見込みです。

調査準備作業に時間を  
要したことなどから、工程  
見込みより1カ月程度遅  
れている状況にあります。

### 塩庭二区行政区にある 管理型の産業廃棄物 最終処分場について

**町長** 昨年11月に民間会社  
が県より9品目の処分業  
の許可を得て施設の稼働  
を行うおつもりです。放  
射能が付着したがれき類  
の搬入が特に心配されま  
す。安全安心な環境を守

るためにも町の関与は不  
可欠です。県より許可が  
おりてから、地元、県業  
者とのやりとり等につい  
て、分かる範囲でお答え  
願いたい。

### 公害防止協定が 締結されるまで 搬入を行わないこと などを要請

**町長** 地元役員の皆様  
には必要の都度、経過や  
状況の報告を行いまし  
た。県に対しては安全確  
立の担保措置について文  
書をもって要望し、事業  
者に対しては、今後の搬  
入計画の提示や放射性  
物質への安全対策等につ  
いての考え方について説  
明を求め、地元の意向を  
含めた公害防止協定が  
締結されるまで搬入を行  
わないことなどを要請し  
てまいりました。

### 今後、町はどのくらい 関与しようのか

**町長** 今後、塩庭二区住民と  
近隣住民の安全安心な生  
活環境を守るために、町は

どのように関与してい  
くのか伺う。

### 公害防止協定や 監視の強化等により 安全性の確保に 努めたい

**町長** 地元住民の皆さ  
んの意向や町の意見を含

めた公害防止協定を締  
結し、町や地元による監  
視のほか、県の監視強化  
を求め、協定に違反した  
場合などは、事業者と県  
に操業の停止と改善を要  
求するなどの策を講じ、  
生活環境を守ってまいり  
たい。



会田明生 議員

## 町長の政治姿勢について

### 町民の目線、生活者の 視点の大切さ、生活者の 重要性をどうにか

**町長** 校の剪定枝の処分  
に  
関し町の対応を質すもの、  
また、放射性廃棄物の搬入  
の恐れと題する新聞折込  
が相次いだり、町政に対す  
る不満や不安が、新聞折込  
という形で表現されたこ  
とは、町民との信頼関係が  
崩れつつある現象の一つ

はないか。

町民との信頼関係を再  
構築するため、町民の目  
線、生活者の視点でのまち  
づくりが重要ではないか。

### 町民の声に耳を傾け、 真摯に町政運営に 当たってまいります

**町長** 私は町長就任以  
来「公正・公平・誠実・信  
頼・実行」の信条のもと、  
行政課題を先送りせず、一

### 住民の感覚との間に ずれがないか

**町長** ただ今、自身の政治  
信条に基づいてまちづく  
りをしてまいります。

### 町独自に安全確保の 調査を行ったか

**町長** 4月以降、大阪や京都  
などで、登下校中の児童等  
の列に自動車が入り込み死  
傷が発生するという痛  
ましい事故が相次いでい  
ます。このような事故は、  
運転者の不注意・過失によ

### 町民の声を聞きながら 真摯に努めていきたい

**町長** 改めて町民の目線  
で皆さんの声を聞きなが  
ら、様々な観点を考慮し  
つ真摯に努めていきたい。

## 通学路等の安全確保について

るものが原因ではあるが、  
歩道と車道の区分がない  
など、構造に不備がある場  
合も考えられます。  
児童生徒を始め、町民の  
安全と安心を守るために、  
自ら調査点検し対策を講  
じていく必要があると考  
えるが、町として、国・県が

### 不断に事故防止に 努めている

**町長** 通学路となる歩道  
の整備については、小野中  
学校付近のリカちゃん通  
り線の歩道の整備や警察  
署前の水路改修による歩  
道の確保、また、県への要  
望を通じ、吉野辺地内の国  
道349号線や浮金地内  
の県道小野・郡山線など、  
国・県道の歩道設置、各種  
安全施設の整備を進める  
など、不断に事故防止に努  
めています。

なお、文部科学省よりの  
調査に関連した点検状況  
については教育長より答  
弁させます。

### 通学路の安全点検・ 安全確保を図るため 各小・中学校に指示

**教育長** 各学校において、毎  
年計画的に実施している危  
険箇所等の点検調査等と  
併せて通学路等の点検を行  
い、児童生徒に注意を促す  
など指導を行っております。

教育委員会としては、  
事故発生後の5月11日付  
け文書で改めて通学路の  
安全点検や安全確保を図  
るよう各小・中学校に指  
示しました。

5月30日付け文部科学  
省通知に基づき調査につ  
いては、学校、保護者、警察に  
加えて、道路管理者にも参  
画を要請し、今後、合同点  
検を実施してまいります。



▲リカちゃん通り線の歩道

# 河川改修事業と公立病院の建替えについて

### 公立病院を移転し、跡地を河川改修に伴う住居移転の誘導地とする考えはないか

**問** 公立小野町地方総合病院は、東日本大震災で被災した旧館の建て替えが進められる見込みと伺っています。

公立病院を、小野インター、国道349号、ドクターヘリの離発着場所の一つである野球場といった施設に近接する位置に建設することで、公立病院の存在価値は益々高まり、病院跡地を河川改修に伴う住居移転の誘導地としての利用も可能と考えるが、町長の考えを伺う。

現在地での建て替えを考えている(注1)

**町長** 公立小野町地方総合病院は、震災の影響のなか

か、新館を引き続き利用することを前提に旧館の建て替えを図るとして、あらゆる方面に働きかけをしてきた経過があり、現在地での建て替えを考えています。

(注1)6月現在、公立病院は別の場所への建て替えを検討されています。

### 代案の検討、議論も必要ではなかったか

**問** 今後の小野町のまちづくりという観点から見た場合、代案という中で検討、議論も必要ではなかったかと思つたが、そういった議論の経過はなかつたのか。

先ほど申し上げた観点からの建て替えを念頭に置いている

**町長** 緊急事態の中での議論であるので、先ほど申し上げた観点からの建て替えを念頭に置いています。



▲公立小野町地方総合病院

## 宗像芳男 議員



### 右支夏井川河川改修事業について

### 当該事業による住宅等の移転先の用地確保等の考えはあるか

**問** 右支夏井川河川改修事業について、完成するまでどの位の期間を予定しているのか。

また、多数の世帯の家屋移転を伴つたが、町が移転先の用地を確保する計画はあるのか。町なかで空洞化しては本末転倒であります。

この工事期間中、工事用車両等の増加により、児童生徒や住民を交通事故から守らなければならぬと思うが、対策はいかにしているか、伺う。

十分配慮し

対応してまいりたい

**町長** 県によると、事業



## 籠田良作 議員

### 河川改修事業について

### 河川改修に伴う地権者への町の対応について

**問** 右支夏井川河川改修事業の計画法線が発表され、行政区の説明会も開催されましたが、家屋移転における補償、移転先の土地の確保等について、地権者の皆さん、それぞれ事情が多々あるかと思つたので、地権者の皆さんの身になり事業を進めなければなりません。

また、計画法線の中に入っている地権者の方から、10年前に話があり、協力したい気持ちはあるが、今後また10年、20年とかかるのでは、年もとり、今後どのような生活設計を立ててよいのか不安で精神的に参ってしまうとの声も伺っています。

先ほど申し上げた

観点からの建て替えを

念頭に置いている

お話がありました。

さらに、協力はするが優先的に行う工区を取り入れていただきたいとお話も伺っています。

町は、地権者の要望を真摯に受け止め、県当局と十分な協議をお願いするものだが、町長の考えを伺う。

### 誠心誠意、真摯に対応してまいります

**町長** 長年慣れ親しんだ住宅、土地からの移転という非常に大変な苦労をお願いしなくてはなりません。地権者の方々との早い段階から真摯に対応し、地権者の身になり事業を進めることが最も肝要です。

移転先の確保については、町なかの町有地、協力していただくのであり、町民の皆様への安全・安心を図っていくの他あらゆる面において以前とは変えました。

この際、発想の転換を図り、町民が本心に住みよいまちづくりの基本政策はこのようになっていくか、町長に伺う。

### 町民の安全・安心を図っていく

**町長** 東日本大震災を経験し、改めて安心・安全・防災の重要性を体感した

### 公立小野町地方総合病院建設について

### 新たな場所に建設することも選択肢の一つではないか

**問** ドクターヘリの発着への対応、来院者の駐車場の確保、高速交通網とのアクセスのよさ、災害に強い場所であることなどを考えると、新たな場所に建設することも選択肢の一つではないか。

また、医師や医療従事者の確保策はいかなるのか、伺う。

ただける民有地の活用など、移転代替地の土地の情報の提供について方法も含め、現在検討しております。

近年、ゲリラ豪雨等激しい降雨等のため、河川近隣住民の不安が増幅しています。これらの事業を勘案し、優先的に行う工区の選定について協議をしてみたいと思っております。

説明会の中でも、事業完成

### 光明院橋の架け替えについて

### 公立病院建替えにおける周辺の環境整備について

**問** 右支夏井川河川改修事業の説明によると、光明院橋は現状のままということだが、町の核となるべき病院周辺の整備は急務です。町として、光明院橋の架け替えを県当局に積極的に運動してはどうか。

### 県との協議には万全を期す

**町長** 県の河川改修計画によると、光明院橋については、計画河川断面、河川幅、堤防高、いすれにおいても現

まで10年、20年かかるのではと不安を抱いた方が数多くおられました。県への要望活動をさらに強化し、河川改修事業の意義と地権者の長年の思いを訴え、早期の完成に努めてまいります。

事業の実施には地権者の皆様のご協力が必要不可欠であり、町としても誠心誠意、真摯に対応してまいります。

右支夏井川河川改修事業、公立小野町地方総合病院改築事業、両事業とも町にとり一大事業ですので、県との協議には万全を期し、意見要望を行ってまいります。

### 産婦人科の開設はどうか

**問** 総合病院建設の中で、産婦人科を開設できるような体制をとるのか伺う。

### 要望に応えるよう努力したい

**町長** 産婦人科の要望は、多くの町民、また、公立小野町地方総合病院の構成市町村の住民の方々からもいただいています。極力要望に応えるように努力したいと考えております。

### 産業廃棄物処理場問題について

### 処分場が認可された経緯と町の対応について

**問** 塩庭区の産業廃棄物最終処分場について、今般、軽微な変更という事で、2品目からの品目への許可がされたと聞いております。

この間、県より町へ連絡等はなかったのか、その後、町としていかなる対応をしたのか伺う。

また、町と住民との対話や説明が十分なされなかったと思われるところがあるが、今後の対応は具体的にどのようなものか伺う。

### 安全・安心な生活環境を守ってまいります

**町長** 県からは、許可関係の申請書類等が提出された時点などに連絡を受け、地元の方々は、内容について経過や状況の報告を行ってまいりました。今後の対応については、

事業者との間で公害防止協定の締結を行い、住民の安全・安心な生活環境を守ってまいる所存です。

### 地域住民の不安への対策と仮置場について

**問** 今後、8,000ヘクタール以内の廃棄物が搬入される可能性があるが、地域住民の不安を解消させる手段、対策はいつするのか。

また、仮置場の決定を早急に行うべきと考えるが、遅々として進んでいない状況である。町長の強いリーダーシップにより決

断の時と思うが、町長の考えを伺う。

### 協定に基づく対策を十分に講じる

**町長** 事業者との間で公害防止協定を締結し、協定に基づく対策を十分に講じ、住民の安全安心な生活環境を守ってまいる考えです。

また、仮置場についてですが、候補地選定の絞り込み作業を実施している状況にありますので、早期設置に向け最終的な決断をしまぐる考えです。

### 遠藤英信 議員



## 東日本大震災及び原発事故の対応について

### 大震災及び放射能汚染対策に対して、検証はしたか

**問** 東日本大震災及び原

発事故が発生してから1年3カ月が経過したが、今日までの大震災及び放射

能汚染対策に対して、小野町のリーダーとして十分發揮されたのか、何が不足なのか等検証はしたか、このことについて、町長の考えを伺う。

### 問題点を整理検証し、まちづくりへ反映させる

**町長** 震災の発生直後より、災害対策本部を立ち上げ、陣頭指揮に当り、全力を傾注してきました。未曾有の大震災や原子力災害に直面し、この経験をどう生かしていくかについて思いを深くしている所です。有事に対する不備・不足の点について課題が見えてきたことも多くありますので、問題点をしっかりと整理検証したうえで、今後の防災対策を始めとしたまちづくりへ反映させていく所存です。

また、雨や風で放射性物

### 土砂等の一時的な仮の保管場所について

**問** 各行政区で土壌などの保管場所も選定されないで、掘上作業が実施されている。

また、雨や風で放射性物

質が移動して平地などに集まることによると思われるホットスポットが指摘されているが、このような対応でよいのか。

町内の土砂等を保管するため、町長の決断で一時的な仮の保管場所を決めなければと思います。

保管場所についての考えと、クリーンアップ作戦を始め、地域のボランティア活動にどう対処するか伺う。

### 仮置場をできるだけ早期に設置

**町長** 清掃活動のため一時的な仮置場については、仮置場となる地域住民の不安なども踏まえ、設置に至っておりません。除染実施計画による仮置場を、出来るだけ早期に設置し対処してまいります。

クリーンアップ作戦については、刈草を土手の中ほどに集めるなど、可能な範囲で作業をお願いすることとしております。

### 海洋センタープールの無料開放について

**問** 昨年の夏休み期間中は、幼児・児童について海洋センタープールを無料開放しましたが、先日のお覧で、幼児・児童のプール利用料金の案内がありました。

今年も当然、海洋センタープールは無料開放するものと期待していたが、教育長の考えを伺う。

### 夏季休業中は無料とする

**教育長** 海洋センタープールについては、今年度も夏季休業中の中学生以下の利用について無料とします。

なお、夏季休業を除く期間については利用料を負担いただきたいと考えております。

### ホールボディカウンタ

### 内部被ばく測定について

**問** つい先日、施設利用幼児の保護者宛に「ホールボディカウンタによる内部被ばく測定のお知らせ」がありました。役場健康福祉課、小野町教育委員

会連名の発出文書であります。測定を希望する4歳以上の幼児対象であります。

この内部被ばく測定の施策は、いつ、どのように決めたのか。小学生以上の児童・生徒はどうするのか。また、全ての町民はどうするのか。どんな根拠でこういうことになったのか。町民及び議会に対して、どのような対応を説明したのか。



▲海洋センタープール

### 今後、測定環境が整い次第、順次対応したい

**町長** 早期に町民が内部被ばく線量の測定を受けられる環境を整備するため、民間医療機関における測定について協議を整え、

この3月に第1回目として中学3年生を対象に実施しました。以降、測定が可能となる4歳以上の幼児・児童を対象に5月には町の保育園等の幼児の測定が終了し、6月には民間保育施設の幼児、施設に入所していない幼児、及び小学生の測定を実施する予定です。

また、今後、中学生、高校生、妊婦を順次実施するほか、さらには町民全体が測定できる体制を整えたいと考えております。

児童生徒の測定を優先したことから一般町民の皆様への周知が遅れましたことについては、今後、気をつけていきたいと思

## 人口減少対策について

### 財政調整基金について

**問** 小野町の人口は減少傾向に歯止めがかからず、将来の小野町の存続にかかわる最重要課題です。

そんな状況下、財政調整基金を積み立てていますが、この時期に大胆に活用すべきと思います。

具体的な施策を提言する前に、財政調整基金の取り崩し活用について、町長の考えを伺う。

### 不足が生じる場合など取り崩す

**町長** 財政調整基金は、

時の財源とするための積立金です。

事業実施に当って不足が生じる場合などには、取り崩して対応することとしております。

### 結婚成立奨励金制度等の創設について

**問** 具体的な施策について提言しますので、実施可能か伺う。

最初に、結婚を奨励し、成立した時に奨励金を支給する制度の創設について。

次に、結婚祝い金及び誕生祝い金の創設について。

次に、安心して子育てができる子育て支援専用住宅の建設について。

### 奨励金等の制度創設は考えていない

**町長** 結婚成立奨励金制度の創設、結婚祝い金並びに誕生祝い金の創設については、現在、考えていませんが、今後も様々

## 企業誘致と既存企業への支援策について

### 鶴庭工業用地の無償提供について

**問** 企業誘致が実現すれば、人口増、雇用の確保、地域の活性化等、メリットが多く考えられます。

鶴庭工業用地を無償提供することについて、どう考えるか伺う。

### 提案いただいた内容も考慮し、誘致活動を進める

**町長** 震災以降、新たに進出する企業、さらに既存企業に対し、手厚い国県

なご意見をお聞きしながら、施策を総合的に推進したい。

次に、子育て支援専用住宅の建設について、若年層向け住宅の建設を検討する必要がありますので、安心して子育てできる居住空間の整備、定住促進を図ってまいります。

### 既存企業への支援策の拡大について

**問** 既存企業への支援策の拡大について、どのように考えているか伺う。

次に、平成24年度の企業誘致活動の当初予算が20万円だが、この予算規模

で本気になって企業誘致活動が行えるのか。もっと予算規模を拡大して大々的に誘致活動をしなればと思うが、どうか。

### 必要に応じ、検討を行う

**町長** 既存企業への支援策の拡大については、必要に応じ、町独自の支援策について検討を行ってまいります。

企業誘致の予算規模の拡大については、常に有効な手法を模索しながら進めていくことが重要と考え、そのために必要な予算については今後も計上させていただきます。積極的な企業誘致を進めてまいります。

### 佐藤登 議員



## 放射線から子供を守る取組みについて

### ガラスバッジの配布と結果について

**問** 小野町でも昨年9月にガラスバッジを配布して9カ月が経ちました。これまで何人の人に配布しているのか伺う。

### 1,558人に配布した

**町長** バッジ式積算線量計による測定状況についてですが、昨年9月に1歳以上の幼児から高校生まで、1,558人に配布しました。線量の測定をこれま

成可能な場所を仮置場に選定してはどうか。

### 候補地のヒヤクワン検討をすすめる

**町長** 仮置場を国有林に求めることも、現在、候補地の二つとして検討しています。

しかし、木の伐採や造成にかかる工期、汚染土壌等を運び込む新たなルート開設などの制約も見込まれるため、諸条件を勘案し、総合的にどのような箇所が仮置場として適当であるのか検討し、早期に提示できるよう選定作業を進めてまいりたい。

## 除染対策について

### モニタリング調査状況について

**町長** 各行政区毎にモニタリング調査が実施されているが、調査状況はどのように進行しているか伺う。

### 6割の世帯の測定を終了

**町長** 空間放射線量測定については、7月6日までの工期で業務委託し進めています。6月8日時点で、調査対象世帯の約6割の測定作業を終えています。

この測定結果については、7月下旬を目途に各世帯へ報告したいと考えています。

### 0.23マイクロシーベルト未満の地区は除染をしないのか

**町長** 0.23マイクロシーベルト未満だと除染に対する国の助成は受けられないが、以前から町長は基準値以下でも町

内全域の除染に取組むと説明されていました。今もその考えに変わりはないか伺う。

### 町単独事業については、今後、検討する

**町長** 町としては、基本的には国が示している関係法令やガイドラインに沿って作業を進めてまいりたい。

しかし、局所的に高い線量を示す箇所等もあり、住民の不安を解消するためにも、除染に係る交付金事業の拡充等について国や関係機関に働きかけるとともに、町単独事業についても、今後、検討してまいります。

### 町内の国有林を造成して仮置場についてはどうか

**町長** 原子力発電は国策であり、国が安全管理をおろそかにしたとも言える災害であります。町にある国有林の造

## 学校教育の中にも放射線に関する教育がなされるべきと思うが

子供の放射線に対する検査を長期継続し実施する必要がありと思うが、町長の考えを伺う。

### 地元の

### 医療機関や関係機関と連携し

### 対応したい

**町長** 福島県では、震災時18歳以下のお子さんを対象に、1回目の甲状腺検査を平成25年度までに完了し、その後、20歳までは隔年検査、以降、5年ごとの検査を計画しています。

今後、子供たちの安全と健康管理のあり方について、地元の医療機関や関係機関と連携し、専門的なご意見を頂戴しながら対応したいと考えています。



▲ガラスパツジ

で、昨年の10月、12月、本年の3月と3回実施し、全員が年間推計線量1ミリシーベルト以下の値でありました。

なお、この値は自然放射線量の大地からの0.38ミリシーベルトと宇宙からの0.29ミリシーベルトを差引いた値です。

## 子供の放射線の検査の長期間の実施について

**町長** チェルノブイリ原発事故後、5年目に多くの子供たちに甲状腺が

## 反町地内の踏切拡幅等について

### 反町地内のJR踏切拡幅と周辺整備について

**町長** 反町地内の踏切については、幅が県道幅より狭く、また、周辺の盛土の草丈が高くなると、踏切での安全確認が困難となるなどの状況です。

小野町の玄関口でもあり、通学路ともなっており、事故などが起きないよう、町としてJR東日本や県に対して、改善の要望をしてはどうか。

### 県、及びJR東日本に要望、要請をまいりたい

**町長** 町では、以前より踏切改良と県道拡幅についての要望を県当局に行ってきたが、踏切の改良には様々な制限があることや、交通量、事業効果、緊急性等を勘案し、当面の実施は難しいとのことでした。

しかし、踏切内の歩行者の安全確保や円滑な車両通行、併せて、周辺環境整備の面から、当該踏切の改良について機会ある度に県当局に要望するとともに、JR東日本にも協力を要請してまいりたい。



▲反町地内の踏切

## 道路環境整備について

### 道路環境整備の予算を拡大すべき

**町長** 町では、道路の維持管理の面で立ち遅れているのを見受けられる。法面の立木や側溝の土砂、側溝付近の雑草など、これまでの県の雇用創出事業や行政区への道路維持管理費だけでは、なかなか進まない状況です。

### 今年度の教育課程に位置付け、学習を行っております

**町長** 文部科学省では児童生徒向けの副読本と教師用解説編を作成し、各小・中学校及び高等学校等に昨年度配布しました。

小野町教育委員会としては、副読本や指導資料の活用を図り、放射能等における学習指導を行うよう通知し、各小・中学校では、今年度の教育課程に位置付けし、学習を行っております。

## 町道の環境整備について

### 道路管理の徹底に努めたい

**町長** 側溝内の清掃、町道法面の立木伐採等については、各行政区、関係受益者の協力を得ながら対応しております。

町としても、定期的に道路パトロールを実施し、町道の維持管理の徹底を図っています。

今後は、財政状況を考慮しつつ、地元行政区と調整を図りながら道路管理の徹底に努めてまいりたい。

## 防犯灯の整備について

### LED防犯灯の整備を検討しては

**町長** 長年の風雨により、故障等している防犯灯が見受けられます。防犯灯の維持管理は各行政区が行うよ

うだが、故障の数も多く、行政区の負担軽減と電気料や寿命の面からも、LED防犯灯の整備を検討しては

と考えるが、町長の考えを伺う。

### LED型の防犯灯の設置も推進

**町長** 新たに防犯灯を設置する箇所や、老朽化により交換が必要な箇所については、昨年度よりLED型の防犯灯の設置も推進しています。既存の防犯灯については、かなりの数です。短期間にLED型の防犯灯に切り替えることは、困難であります。

各地域の要望も踏まえながら、引き続き、計画的に整備を図ってまいります。

# 行政調査報告

企業対策特別委員会、総務文教常任委員会及び厚生産業常任委員会が先進地等を調査しました。各委員長の報告を掲載します。



▲(株)アドバネクス東京本社にて

## ◆企業対策特別委員会

調査先

福島県東京事務所、東レACE(株)、アドバネクス

7月19日、20日、戸町長、村上議長に同行頂き、東京方面へ行政調査を実施いたしました。今回の調査は、昨年3月11日に起きた東日本大震災、及び福島第一原子力発電所の事故から約1年4カ月が経過したが、その後の企業立地の動向や、当町立地企業の動向等について調査するため実施したものであります。

初めに、福島県東京事務所を訪問し、飯塚俊二所長、玉根吉正次長、小林弘幸企業誘致課長より震災、原子力発電所の事故後の企業誘致における現況報告等、説明を受けました。今年度は企業立地補助金交付等で県内に新規の企業が増加しているとのことであり、小野町の鶴庭工業用地については、23年度は2、3件の問い合わせが有

りました。その後、田正穂社長室長から現在の経営状況、今後の動向等について説明を頂きました。また経営状況は大変であるが、少しずつ回復しているとのことでありました。福島工場再開については、閉鎖した小野町工場の建物や土地の今後の活用等については、小野町議会としても、(株)アドバネクスと情報交換を密にしていきたいとお話してまいりました。

今後においても、今回の調査、並びにご指導いただいたことを引き続き企業誘致活動に生かし、見直す所があれば町へ提言を積極的にするとともに、企業誘致を推進していくことを全委員の総意とし、行政調査の委員長報告と致します。

委員長 吉田康市

# 平成24年 第2回臨時会

5月25日

## 平成24年第2回臨時会は、5月25日に開催され、次の5議案を議決しました。

### ◆平成23年度小野町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて

(平成24年第1回定例会(3月議会)後の地方交付税の額の確定等に伴い、緊急に補正予算の編成が必要となったため専決処分したものの。) <全員賛成で承認>

### ◆小野町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

(地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律が3月31日付けで公布されたことに伴い、当該条例の必要な改正を行ったもの。) <全員賛成で承認>

### ◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

(前議案同様、地方税法の一部を改正する法律が3月31日付けで公布されたことに伴い、当該条例の必要な改正を行ったもの。) <全員賛成で承認>

### ◆平成23年度小野町一般会計補正予算(第3号)

(歳入について財政調整基金繰入金1,190万円を増額、歳出について、放射能被害により利用自粛となっている自給飼料生産農地の反転耕、耕起等による再生委託料に1億1,258万5千円、放射能セシウム等の吸収抑制のため、カリ質肥料の施用を行った農家への補助金689万3千円をそれぞれ増額計上し、予備費について47万8千円を減額し、収支調整を行ったもの。) <全員賛成で可決>

### ◆小野中学校プール災害復旧工事請負契約の締結について

(東日本大震災により被災した小野中学校プール災害復旧工事について、落札業者と請負契約締結するもの。) <全員賛成で可決>



## ◆総務文教常任委員会

調査先 兵庫県加西市、岡山県真庭市



▲真庭市・落合こども園にて

平成24年7月4日から6日までの日程により、兵庫県加西市における議会基本条例の制定及び実施状況、並びに岡山県真庭市における幼保二元化の取り組みとして認定こども園の設置・運営状況を、さらに同市の振興策であるバイオマスタウンの取り組み状況について行政調査を行いました。

はじめに訪問しました兵庫県加西市の議会基本条例については、議会及び議員の活性化と充実のため、情報公開による透明性や公平・公正の確保、政策活動等への市民参加や議員の資質向上等、住民が主人公として安心して暮らせるまちづくりの推進を目的に議会運営の基本条項を定め、たもので、施行から2年が経過しております。

定例会後に開催される議会報告会への市民参加状況はあまり思わしくなく、未だ市民に浸透していない状況であります。議員自らが議決事項に追

加した各種計画等について勉強会や議論を重ねているとのことでした。

次に訪問しました岡山県真庭市の二つ目の視察先であります「落合こども園」ですが、認可幼稚園と認可保育園の機能を併せ持つ「幼保連携型」タイプで、平成19年4月11日に岡山県第1号の認定を受けました施設であります。

こちらでは通常業務のほかNPO法人等と連携しながら子育て家庭の相談活動や親子の集いの場の提供等、充実した施設での運営がなされており、子どもたちは元気に生き生きと活動しております。

同市二つ目の視察先でありますバイオマスタウンですが、「日本のバイオマスタウン」を目指し「賑わいと安らぎのある杜市」と「づくりを目標に振興策を実施しております。こちらには全国各地から視察や研修の申し込みが相次いだため、現在は社団法人庭観光連盟が「バイオマス

ツアー真庭」を企画し、市担当と連携を図りながら視察等の受入れを行なっております。

岡山県北部にある真庭地域は森林面積が市全体の約79パーセントという豊かな自然資源をもとにバイオマスによる地域づくりに取り組んでおり、木材を利用した発電プラントや木質ペレットを燃料とした温水プールへの活用のほか、公共施設への新エネルギーの導入、環境保全コンクリートの製造等々、利活用策は多岐にわたり、その規模の大きさには驚きと感動を覚えました。

今回の先進地の取り組みにつきましては、「議会改革」「幼保施設整備」「新エネルギー施策」等、我が町の活性化を図る上で大変参考となる内容であり、今後の議会活動においても引き続き調査研究を行うことを申し添え、行政調査報告といたします。

委員長 遠藤英信

## ◆厚生産業常任委員会

調査先 北海道千歳市、ニセコ町、伊達市



▲伊達市役所にて

平成24年6月27日から29日までの3日間の日程にて、北海道千歳市における子育て支援策の実施状況、ニセコ町における町政に対する住民参加と情報共有の状況、伊達市におけるウエルシールランド構想（豊かで快適なまちづくり）の取組状況について行政調査を行いました。

はじめに北海道千歳市子育て総合支援センターにおいて、梅津美保子センター長より千歳市における子育て総合支援センター各種施設別運営状況等の説明を受け、同施設「ちとせっこセンター」を視察いたしました。

保育士等で構成するワーキンググループを立ち上げ平成17年度より推進し、平成20年4月より開設しました。「ちとせ子育て支援ネットワーク会議」を年4回開催し子育て支援を実施しています。0～5歳児、小学1～3年生、全190名がニコニコ楽しく

活発に生活しています。子供達の笑顔には感動すら与えていただきました。

次に、ニセコ町役場において、千葉敬貴企画環境課長より、ニセコ町における住民参加と情報共有について説明を受け、庁舎内を視察いたしました。ニセコ町においては、住民参加と情報共有をまちづくりの2大原則とした「ニセコ町づくり基本条例」を平成13年4月より施行し、町民一体となったまちづくりを推進されており、大変参考にすべき点が多い調査となりました。特に情報共有のために、分かりにくい予算書や内容を町民に知らせることを目的に、平成7年度より「お伝えします 今年の仕事とお金の使い方」という200ページの冊子なる予算説明書の全戸配布を実施しています。当町においても検討に値するのではと感じました。

次に、伊達市役所におい

て、石澤高幸企画課長より伊達市におけるウエルシールランド構想について説明を受けました。

少子高齢化が進む中で、高齢者が安心・安全に暮らせるまちづくりを進めるとともに高齢者ニーズに応える新たな生活産業を創出し、働く人達の雇用を促進して豊かで快適なまちづくりを目指し取り組んでいるとの事でありました。

説明の中で特に感じた事は、市より補助金を受けず認定をもらい、高齢者集合住宅運営を自立ビジネスとして成立させた事でありました。「口は出すがお金は出さない」との市の姿勢にマッチさせたノウハウをもっと詳しく勉強したいと感じました。

以上今回の行政調査の成果を今後の議会活動に反映し、町の発展、活性化に生かせて行きたいと思

委員長 水野正廣

- 3日 ■東堂山祭礼
- 7日 ■平成24年度田村地方PTA連合会総会(田村市)
- 8日 ■平成24年度小野町納税貯蓄組合連合会総会(多目的研修集会施設)
- 平成24年度小野町老人クラブ連合会通常総会(小野町勤労青少年ホーム)
- 福島県町村議会議長会理事・監事合同会議(福島市)
- 10日 ■企業対策特別委員会
- 月例全員協議会
- 議会改革特別委員会
- 16日 ■平成24年度右支夏井川河川改修谷津作地区地権者総会(谷津作地区研修センター)
- 17日 ■小野町商工会第53回通常総代会(小野町商工会)
- 18日 ■阿武隈高原酪農ヘルパー利用組合第18回通常総会(多目的研修集会施設)
- 19日 ■夏井第一小学校運動会
- 小野新町小学校運動会
- 飯豊小学校運動会
- 20日 ■小野町身体障がい者福祉会総会(ゆ〜こまち)
- 21日 ■平成24年度第1回小野町都市計画審議会(役場会議室)
- 新人議員研修会(福島市)
- 22日 ■田村たばこ販売組合第12回通常総会(田村市)
- 田村地方市町議会議長会(三春町)
- 23日 ■小野町更生保護女性会第39回定期総会(多目的研修集会施設)
- 24日 ■小野地区酪農業協同組合第64回通常総会(多目的研修集会施設)
- 25日 ■議会運営委員会
- 全員協議会
- 第2回臨時議会
- 議会広報編集委員会
- 例月出納検査
- 26日 ■浮金小学校運動会
- 27日 ■第28回議長杯ソフトボール大会(多目的グラウンド)
- 高柴山山開き
- JAたむら第17回通常総代会(田村市)
- 28日 ■議会改革特別委員会視察調査(只見町)
- 大熊町議会(会津若松出張所)を表敬訪問
- 29日~30日 ■第37回町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 31日 ■小野町シルバー人材センター平成24年度第1回定期総会(小野町保健福祉センター)

- 2日 ■矢大臣山山開き
- 3日 ■第41回町長杯行政区対抗壮年ソフトボール・家庭バレーボール大会(多目的グラウンド・町民体育館)
- 平成24年度「ふるさと小野町会」総会(埼玉県)
- 4日 ■県町村議会議長会平成24年度定期総会(福島市)
- 「放射線と廃棄物」勉強会(小野町勤労青少年ホーム)
- 5日 ■第21回福島県グラウンドゴルフ協会県中支部交流大会(多目的グラウンド)
- 8日 ■議会運営委員会
- 月例全員協議会
- 10日 ■福島県消防協会第8回田村支部幹部大会(田村市)
- 日影山ふれあい登山
- 11日 ■郡山地方広域消防組合議会・議会運営委員会第2回臨時会(郡山市)
- 12日 ■第2回定例会開会(15日まで)
- 地区酪牛乳消費拡大キャンペーン来庁
- 16日 ■平成24年度小野町阜月展示会(多目的研修集会施設)
- 田舎暮らし体験ツアー昼食会(緑とのふれあいの森公園)
- 19日 ■行政区長と議会との意見交換会(多目的研修集会施設)
- 22日 ■小野町水防協議会
- 25日 ■例月出納検査
- 新生ふくしまの創造に向けた国への要請活動(東京)
- 26日 ■平成24年度田村地区防犯協会連合会総会(田村市)
- 27日 ■厚生産業常任委員会行政調査(29日まで)

- 1日 ■クリーンアップ作戦
- 2日 ■町村議会広報研修会(福島市)
- 4日 ■総務文教常任委員会行政調査(6日まで)
- 小野町ふるさと暮らし支援センター第8回通常総会(小野町商工会)
- 8日 ■第65回福島県総合体育大会県民スポーツ大会県中地域大会田村地区予選大会 壮年ソフトボール(多目的グラウンド)
- 草野典子民生委員叙勲祝賀会(郡山市)
- 9日 ■消防操法大会出場選手激励(小野赤沼行政区グラウンド)
- 平成24年度青少年育成「少年の主張大会」(小野中学校)
- 10日 ■企業対策特別委員会
- 月例全員協議会
- 議会改革特別委員会
- 11日 ■平成24年公立小野町地方総合病院企業団議会第2回定例会(公立小野町地方総合病院)
- 12日 ■田村地方市町議会議員研修会(田村市)
- 13日 ■平成24年度サマーキャンプ中学生の翼結団式(小野町勤労青少年ホーム)
- 15日 ■消防協会田村支部消防操法大会(三春町)
- 17日 ■商工会と議会との意見交換会(役場会議室)
- 18日 ■福島県市町村教育委員会連絡協議会平成24年度本会総会(田村市)
- 19日 20日 ■企業対策特別委員会行政調査(東京)
- 24日 ■例月出納検査
- 第32回小野町小学校水泳記録会第29回小野町小学生水泳大会(小野町B&G海洋センター)
- 25日 ■決算審査(27日まで)
- 26日 ■第65回福島県総合体育大会グラウンドゴルフ(多目的グラウンド)
- 28日 ■こまちダムまつり(こまちダム)

# 笑顔でがんばってまわす!

このページでは、笑顔でがんばる町民のみなさんを紹介しします。今回は、「湯沢愛林組合」を紹介しします。インタビューには組合長の石井利雄さんが応えてくれました。(72-5044)



▲組合長の石井利雄さん

## どのような活動をしていますか?

矢大臣山の山頂や登山道の雑木の伐採や草刈りなど維持管理を行っています。

活動の様子▶



▲活動の様子

## やって良かったと思ったことは?

愛林組合の活動を通して、地元に貢献できること。



▲活動の様子

## 今後の活動の計画や目標は?

中高年の女性が登りやすい山ということで、健康増進のため女性の登山者が増えています。これまで以上に矢大臣山登山の魅力を増すために、山頂の山ツツジを手入れし、日本一の山ツツジの山にしたい。

また、樹齢数百年のブナの巨木が数本あり、そこまでの通路づくり到现在取組んでいます。山登りをする子供たちが大変少なくなっていますが、子供たちにも魅力のある山にして、子供たちの登山の思い出づくりをしたい。

## 最後にひとこと

地元の皆さんを含め、女性や子供たちなど多くの人に矢大臣山に登ってもらい、矢大臣山の良さを知っていただきたい。  
(インタビューは、議会広報編集委員会が行いました。)

## 華やかに咲く「さつき」



今年も吉田喜一郎さん(平館)のご厚意により「さつき」をお借りし、議長室に飾りました。満開に咲いた「さつき」は議長室に華やきを添えてくれました。

●あともがき●

8月7日は暦の上では、立秋です。旧暦7月の正節で新暦8月8日頃です。残暑は厳しいが暦の上ではこの日から秋になります。夏は暑くて当たり前、と強がりをもってみるが連日の高温に少々ばて気味だ。年配の人にはこのぐらいの暑さは「といて、農作業に精を出す人もいるが、熱中症にはくれぐれも気を付けたい。私達広報委員会も暑さに負けず議会活動を行って行きます。

議会広報編集委員  
宇佐見 留男



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。